

2021年7月15日

寿都町長 片岡 春雄 殿

意見書

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会

2021年7月7日付で、寿都町対話の場事務局が「町の将来に向けた勉強会メンバーを募集します！！」という文書を町内に配布しました。これについて、以下の意見を提出しますので、7月23日までにご回答願います。

(1) この文書には、「町の将来ビジョン（まちづくり）に資する様々な勉強や意見交換などを行っていく」「概ね1ヶ月に1回程度、まちづくりや産業振興に資する勉強会や意見交換を行います」などとあり、その応募先はNUMO 寿都交流センターとされています。

まちづくりは、町民が主役です。役場が町民と協働して進めるべきことです。地層処分事業を推進する事業者が行うものではありません。町役場は本来の役割を放棄しています。まちづくりについての勉強会を行うなら、役場が事務局となるべきです。

また、この勉強会では地層処分事業に関する意見交換なども行うとされています。役場は公平な立場を担うべきです。地層処分推進ありきで進めないよう求めます。

(2) 応募要件に「町内に居住の高校1年生以上の町民」とありますが、政治リテラシーが身につけていない未成年を、地層処分事業を推進する事業者が主体となる勉強会や意見交換会に参加させることは、一方的な教育につながります。

(3) 勉強会を行うのであれば、NUMO 主体の勉強会ではなく、役場が主体となって、推進・反対双方の意見を聞く勉強会を行うべきです。

以上について、町長のご意見をお聞かせください。

なお、本意見書は町民の会ウェブサイトなどで公開いたします。

子どもたちに核のゴミのない寿都を！町民の会
事務局 048-0401 寿都郡寿都町字新栄町 101-6